

令和8年9月30日

丹波市議会議長 谷水 雄一 様

広報広聴委員会
委員長 家田 優樹

委員会調査報告書

本委員会において行った所管事務調査の結果について、別紙のとおり、丹波市議会会議規則（平成16年丹波市議会規則第3号）第109条の規定により報告します。

1 付託事件

○付託日 令和6年12月5日（第138回定例会）

○付託内容

- ・議会の広報広聴に関すること

2 調査の経過

○第1回委員会 令和6年12月5日（木）

- ・委員長の選任
- ・副委員長の選任

○第2回委員会 令和6年12月12日（木）

- ・広報広聴のあり方について
- ・「議会だより たんぱりんぐ」編集方針について
- ・「議会だより たんぱりんぐ」第80号の編集について

○第3回委員会 令和6年12月25日（水）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第80号の編集及び校正について

○第4回委員会 令和7年1月15日（水）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第80号の編集及び校正について

○第5回委員会 令和7年1月28日（火）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第80号の校正について

○第6回委員会 令和7年2月7日（金）

- ・令和7年度市民との意見交換会（地域出張スタイル）について
- ・令和7年度市民との意見交換会（井戸端スタイル）について

○第7回委員会 令和7年2月27日（木）

- ・令和7年度市民との意見交換会（地域出張スタイル）について
- ・令和7年度市民との意見交換会（井戸端スタイル）について
- ・「議会だより たんぱりんぐ」第81号の編集について

○第8回委員会 令和7年3月5日（水）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第81号の編集について

○第9回委員会 令和7年3月24日（月）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第81号の編集及び校正について

○第10回委員会 令和7年3月26日（水）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第81号の編集及び校正について

○第11回委員会 令和7年4月4日（金）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第81号の校正について

○第12回委員会 令和7年5月9日（金）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」の編集方針の改正について
- ・行政視察について

○第13回委員会 令和7年6月2日（月）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第82号の編集について
- ・行政視察について

○第14回委員会 令和7年6月17日（火）

- ・「議会だより たんぱりんぐ」第82号の編集について

○第15回委員会 令和7年6月24日（火）

- ・市民との意見交換会の意見の分類・振り返りについて
- ・「議会だより たんばりんぐ」第82号の編集及び校正について
- 第16回委員会 令和7年6月26日（木）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第82号の校正について
- 第17回委員会 令和7年7月4日（金）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第82号の校正について
- 第18回委員会 令和7年7月24日（木）
 - ・市民との意見交換会の振り返りについて
 - ・行政視察について
- 第19回委員会 令和7年8月26日（火）
 - ・市民との意見交換会の振り返りについて
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の企画について
- 第20回委員会 令和7年9月1日（月）
 - ・市民との意見交換会の振り返りについて
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の編集について
- 第21回委員会 令和7年9月12日（金）
 - ・行政視察報告書について
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の編集について
- 第22回委員会 令和7年9月18日（木）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の編集及び校正について
- 第23回委員会 令和7年9月19日（金）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の編集について
- 第24回委員会 令和7年9月25日（木）
 - ・行政視察報告書について
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の編集及び校正について
- 第25回委員会 令和7年9月29日（月）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の校正について
- 第26回委員会 令和7年10月2日（木）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第83号の校正について
- 第27回委員会 令和7年11月7日（金）
 - ・市民との意見交換会について
- 第28回委員会 令和7年11月28日（金）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第84号の企画について
 - ・市民との意見交換会について
- 第29回委員会 令和7年12月10日（水）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第84号の編集について
 - ・市民との意見交換会について
- 第30回委員会 令和7年12月17日（水）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第84号の編集及び校正について
- 第31回委員会 令和7年12月19日（金）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第84号の編集及び校正について
- 第32回委員会 令和7年12月25日（木）
 - ・「議会だより たんばりんぐ」第84号の校正について

- 第33回委員会 令和8年1月13日（火）
 - ・市民との意見交換会について
- 第34回委員会 令和8年1月20日（火）
 - ・市民との意見交換会について
- 第35回委員会 令和8年2月3日（火）
 - ・市民との意見交換会について
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」編集方針の改正について
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第85号について
- 第36回委員会 令和8年2月24日（火）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第85号の企画について
 - ・市民との意見交換会について
- 第37回委員会 令和8年3月6日（金）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第85号の編集について
 - ・市民との意見交換会について
 - ・今後の進め方について
- 第38回委員会 令和8年3月11日（水）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第85号の編集及び校正について
 - ・市民との意見交換会について
 - ・今後の進め方について
- 第39回委員会 令和8年3月24日（火）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第85号の編集及び校正について
 - ・市民との意見交換会について
- 第40回委員会 令和8年3月26日（木）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第85号の編集及び校正について
 - ・市民との意見交換会について
- 第41回委員会 令和8年4月2日（木）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第85号の校正について
 - ・市民との意見交換会（地域出張スタイル）について
- 第42回委員会 令和8年5月29日（金）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第86号の企画について
 - ・地域出張スタイル 市民との意見交換会の振り返りについて
- 第43回委員会 令和8年6月12日（金）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第86号の編集について
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」の編集方針の改正について
- 第44回委員会 令和8年6月22日（月）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第86号の編集について
 - ・市民との意見交換会の意見の分類について
- 第45回委員会 令和8年6月25日（木）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第86号の編集及び校正について
- 第46回委員会 令和8年7月2日（木）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第86号の校正について
- 第47回委員会 令和8年7月21日（火）
 - ・調査報告書（案）について

- 第48回委員会 令和8年7月30日（木）
 - ・調査報告書（案）について
- 第49回委員会 令和8年8月4日（火）
 - ・調査報告書（案）について
- 第50回委員会 令和8年8月28日（金）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第87号の企画について
 - ・調査報告書（案）について
- 第51回委員会 令和8年9月11日（金）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第87号の編集について
- 第52回委員会 令和8年9月17日（木）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第87号の編集及び校正について
- 第53回委員会 令和8年9月25日（金）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第87号の編集及び校正について
- 第54回委員会 令和8年9月29日（火）
 - ・「議会だより たんぱりんぐ」第87号の編集及び校正について

3 委員派遣

- (1) 派遣日時 令和7年7月24日（木）・8月5日（火）
- (2) 派遣場所 滋賀県大津市（オンライン方式）、兵庫県西脇市
- (3) 派遣目的 行政視察
 - ア 滋賀県大津市議会
 - ・大津市議会広報広聴ビジョンの策定について
 - ・議会広報紙の編集について
 - イ 兵庫県西脇市議会
 - ・広聴活動・議員報告会（議員と語ろう会）について
- (4) 派遣委員

委員長	家田 優樹
副委員長	高橋 まみ
委員	十倉 浩、酒井 浩二、吉積 毅、 東坂 範雄、大嶋 恵子（大津市議会のみ）
議長	谷水 雄一

4 調査の概要

- (1) 広報活動について
 - ア 議会広報紙の編集に関すること
 - (ア) 議会活動を分かりやすく伝える紙面づくり

冒頭のページでは、市民に議会活動をより身近に感じてもらうため、市議会の一年間の流れや新年度予算審査・決算審査の流れを特集として掲載し、議会の仕組みや審査の過程を写真や図解などを用いて分かりやすい表現になるよう工夫した。また、ミライプロジェクトについては、企画から実施までの流れや高校生へのインタビューを掲載するなど、議会の取組やその背景が伝わる紙面づくりに努めた。

一般質問のページについては、レイアウトを見直し、従来の二段組から一段組へ変更することで視線の流れを整理し、読みやすい紙面となるよう改善を行った。

表紙については、発行月に合わせた特徴的な取組の写真を複数枚配置し、議会の活動等が市民へ視覚的に分かりやすく伝わるよう工夫した。

(イ) 議員の考えや活動が伝わる紙面づくり

市民に議員一人一人の考えや活動が伝わる紙面づくりを目指し、「市民との意見交換会を終えて議員の印象に残った意見」、「議員の新年度注目事業」及び「決算審査で注目した内容」など、各議員の視点を紹介する特集を設けた。

(ウ) 市民参加型の紙面づくり

裏表紙では、団体へのインタビューを見直し、市民から幅広く意見を募集する形式の紙面へ変更した。匿名による投稿も可能としたことで、実際に複数の意見が寄せられた。一方で、募集後の取扱いや活用方法の検討が不十分であった。

イ FM805たんばでの広報活動

多くのリスナーに議会広報紙を知っていただく有効な手段として、5期目後半に引き続き、FM805たんばへの出演を継続した。広報広聴委員が編集時の話題も加えながら、議会広報紙の内容を分かりやすく解説することに努めた。

ウ その他の広報活動

市議会フェイスブックによる情報発信については、写真を活用し、従来よりも見やすく親しみやすい情報発信となるよう工夫した。

(2) 広聴活動について

ア 地域出張スタイル市民との意見交換会の企画立案に関すること

(ア) 運営方法の見直し

令和8年度市民との意見交換会については、従来の市政課題ごとの意見交換を中心とした運営から、参加者対話型の意見交換会へと見直した。「住みたいまちをめざして ― 10～20年後の丹波市を語りあおう ―」を統一テーマとして設定し、未来の丹波市の姿を考えた上で、その実現に向けた取組について意見交換を行う形式へ変更した。

今回、参加者同士が意見を共有しながら議論を深められるように取り組んだ内容は下記のとおりである。

a 将来の丹波市についての意見交換

グループごとに、「将来の丹波市の姿」について自由に意見を出し合った。

b 実現に向けた取組の検討

出された意見を踏まえ、今後どのような取組や関わり方が考えられるかについて意見交換を行った。

c 共感する取組の選定

発言できなかった参加者も共感の意思を示せるよう、自身のグループで特に共感する取組や大切だと考える取組にシールを貼った。

d 他グループとの交流

参加者が他のグループを回り、共感する取組にシールを貼ることで、グループを越えて意見を共有した。

(イ) 参加しやすい環境づくり

親子での参加もできるように会場内に子ども用スペースを設け、幅広い世代が参加しやすい環境づくりを行った。また、土曜日の夜間開催は女性や若年層の参加割合が高くなるなど、これまでとは異なる参加者層の来場が見られた。

(ウ) 事前の準備

市民との意見交換会の開催に先立ち、ファシリテーター及び記録兼報告者の担当別に全議員を対象とした事前説明会を実施した。意見交換会の目的や進行方法、議員の役割を事前に共有したが、当日の運営では受付対応やグループの人数調整、親子での参加者への配慮などにおいて想定外の対応が必要となり、対応に不十分な点があった。

イ 井戸端スタイル市民との意見交換会の企画立案に関すること

令和7年度は2件、令和8年度は6月末日時点で1件の申込みがあった。令和7年度にいただいた意見は各所管委員会における調査事項として取り扱った。

5 今後の課題

(1) 広報活動について

ア 市民の声を反映する広報紙づくりについて

議会広報紙については、6期目前半の2年間で冒頭ページの構成や一般質問のレイアウトを見直すなど、簡潔で読みやすい紙面づくりに取り組んできた。一方で、これらの取組について、市民や読者から客観的な評価を受ける機会を設けることはできておらず、効果測定はできていない。

過去には高校生による読者モニター会議（読モ会議）を実施し、紙面改革を進めた経緯がある。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降休止しており、委員会内部での協議を中心に編集を進めている。

今後は、外部からの評価や意見を取り入れる仕組みを検討し、より市民に伝わる議会広報紙へと改善を重ねていく必要がある。既存の広聴の場を活用することも含めて今後、検討することとする。

イ 広報紙のあり方について

議会広報紙の編集方針には、議案以外の取扱いが明確に整理されていないため、市当局からの報告事項は原則掲載しない旨を編集方針に明記する必要がある。また、校正作業に伴う事務局職員及び市当局職員への事務負担も踏まえ、議員が主体となった作成から校了までの流れを整える必要がある。

(2) 広聴活動について

ア 広聴活動のあり方について

当初、丹波市議会では、地域出張スタイル市民との意見交換会を開催していたが、令和5年度に従来からの市民との意見交換会に加えて、市民の申し出により開催する形式の井戸端スタイル市民との意見交換会を試行した。柔軟な時期及び場所で多様な形式での広聴を可能にすることで、より多くの市民と意見交換する場を設けた。その井戸端スタイル市民との意見交換会は令和7年度、令和8年度においても試行として継続している。

今後は、地域出張スタイル市民との意見交換会と井戸端スタイル市民との意見交換会のそれぞれの目的やコンセプトを明確にした上で、あり方について検討を深め、より実効性のある広聴活動へと発展させていく必要がある。あわせて、意見の整理や取扱いのあり方について検討する必要がある。

また、意見交換会の方針や企画内容の決定に当たっては、広報広聴委員会のみで検討を進めるのではなく、委員外の議員の意見も反映できる流れにしていく必要がある。

6 まとめ

(1) 広報活動について

議会広報紙の外部評価については、高校生、大学生、子育て世代を含む幅広い層の市民からの意見を取り入れるため、ミライプロジェクトなどの既存の取組を活用しながら意見を聴く仕組みを検討する必要がある。次期においては、寄せられた意見を紙面の改善に反映し、より市民に伝わる広報紙づくりを進められたい。

議会広報紙については、編集方針を整理すること。また、原稿作成から校了までの役割分担と手順を見直し、事務局職員及び市当局職員の負担にも配慮しながら、議員が主体となって編集を進める体制を構築する必要がある。

(2) 広聴活動について

議員と市民との交流の機会を増やすため、市民との意見交換会の手法を検討する必要がある。次期の地域出張スタイル市民との意見交換会では、これまで参加してきた市民の声も拾いつつ、若年層や女性などの市民との意見交換会で参加が少ない層をターゲットに定め、ターゲットが参加しやすい日時や場所、テーマを設定することを提案する。井戸端スタイル市民

との意見交換会は、申込条件や周知方法を見直して参加のハードルを下げ、市民が日頃感じている課題や困りごとを気軽に議員と話せる機会にすることが必要である。

また、市民との意見交換会の意見の整理については、重要と考える意見を選定して整理する方法を検討していくべきであるとする。

加えて、市民との意見交換会の方針や企画内容の決定に当たっては、広報広聴委員会のみで検討を進めるのではなく、早い段階で委員外の議員にも情報を共有し、議員全体の意見を踏まえながら検討する必要がある。